警察署協議会会議録

春日警察署協議会

開催年月日時	令和5年2月7日 午後4時00分から午後5時00分まで	
開催場所	春日警察署 5階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下15人
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、刑事管理官、交通管理官、警備課長、総務課長、総務第二係長
議事概要		
<p>【冒頭挨拶】 会長から 本日も忙しい中で参加いただきお礼を申し上げる。 私は、協議会委員を任されているからか警察官の街頭活動を目にする機会が多いと感じており、警察官が何気ない一言を掛けていることに感心している。 協議会委員となり、警察官がこんなに大変な思いをしているということも身近で感じられるようになり、改めて警察官の仕事を見直した。 今回も有意義な会にしたいと思っている。</p> <p>旨の挨拶がなされ、副会長から お忙しい中での参加に感謝申し上げます。 他の警察署で一日警察署長を任命されて飲酒運転根絶に伴うキャンペーンを行い、その一週間後には飲酒運転セミナーでの講演会もさせてもらった。 人は飲酒運転で被害者にも加害者にもなり得るものだと思うが、被害者よりも加害者の立場になった家族の方が膝を崩して倒れ込むような状況が見られると聞き、どちらの立場でも地獄だと感じられた。 キャンペーンの時も、「安全運転でハンドルを握って下さい。」と警察官に声を掛けられた親の姿を見た子供が、「警察官から声を掛けられるとかお父さんすごいね。」と言っていたことが印象に残っている。 こんな親子のやり取りを見ると、街頭活動で警察官が声を掛けることも大切だと改めて感じた。</p> <p>旨の挨拶がなされた。</p>		

議 事 概 要

【署長挨拶】

署長から

公私ともにお忙しい中、春日警察署協議会に参加いただきお礼を申し上げます。令和4年度第4回目の協議会で、本年初めての協議会となる。

今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

春日警察署管内の令和4年中の治安情勢であるが

○ 刑法犯等の犯罪情勢

- ・ 1, 190件（前年比+175件）、春日警察署設立後初めてプラスに転じる
- ・ 自転車盗が急増、侵入窃盗も増加
- ・ 春日警察署管内の犯罪発生数のピークは平成15年、そのときに比べると84.5%減少
- ・ コロナ発生前の令和元年と比べても減少しているが、今後も増加させないよう犯罪抑止に取り組みたい
- ・ また、犯罪の質については、ニセ電話詐欺、ネットに関する犯罪、女性や子供に対する犯罪等が横行
- ・ 特にニセ電話詐欺について、前年比マイナスであるが令和4年も発生しているのが現状であり、令和5年も既に発生している

○ 人身交通事故発生情勢

- ・ 1, 135件（前年比-6件）と僅かながら減少、福岡県下でも減少
- ・ 飲酒運転検挙件数41件（前年比-1件）であるが依然として高水準で推移している
- ・ 自転車関連事故281件、福岡県下警察署の中でワースト1位

となっている。

コロナ対策が緩和されて人や車の動きも活発化することが予想され、それに伴い事件や事故も増加することが懸念されることから、皆様の御意見等をいただきながら各種対策に取り組んでまいりたい。

旨の挨拶がなされた。

【報告事項1 警察署協議会会長連絡会議の開催結果】

会長から、2月2日に博多サンヒルズホテルで開催された会議の結果について報告された。

【報告事項2 西鉄高架化事業に伴う管内の諸対策検証結果】

交通管理官から

○ 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業に伴う切替作業について

前回の協議会報告では、春日警察署管内12か所の軌道敷のうち7か所が未除却であった。

その後、今回の協議会報告では、未除却であった7か所も除却完了している。

議 事 概 要

また、12か所のうち11か所は舗装も施され、残る1か所は歩行者用道路だったところを車両も通行できるように拡幅している。

いずれの舗装も軌道敷除却に伴う舗装であり、引き続き駅周辺の道路改修も行われる予定である。

○ 交通渋滞等について

8月28日の切替えに伴って踏切がなくなった箇所において、踏切による渋滞は解消されたと言える。

交通流の変化について、切替前及び切替後のそれぞれ午前7時から午後7時までの交通量の多い12時間で調査を実施した。

その結果、12か所のうち3か所はJRのアンダーパスや高架になっている路線があり、同所では交通流が増加している。

その要因として、西鉄、JRともに踏切がないため踏切遮断による交通渋滞もなく、通行しやすくなったためと思われる。

他の路線は交通流が減少しているが、その要因として、軌道敷が除却されてスムーズに通れるようになった前述の3か所に車両が流れるようになったからだと思われる。

○ 切替作業に伴う効果（メリット）

踏切遮断による交通渋滞が解消され、さらに交通流の変化がみられた前述の3か所の幹線道路に車が流れて住宅街の交通流が減ったことで、抜け道対策につながったとも考えられる。

交通流が増えた道路の渋滞対策を検討する必要があるが、現時点これらの道路に関する意見・要望等は挙がっていないが、必要があれば信号サイクルの調整等を図っていきたい。

○ 定周期式信号機の設置

8月28日、12か所のうちの1か所に定周期式信号機を設置したところ、その箇所での交通流は増加しているものの、渋滞の長さは

北側から南側にかけて約64%減少

南側から北側にかけて約42%減少

していることから、踏切があったときほどの交通渋滞には及んでいないことがうかがえる。

引き続き寄せられる要望等に対しても的確に対応していきたい。

旨の報告がなされた。

議 事 概 要

【自由討論】

○ 委員から

一日警察署長を任されたときの話であるが、田舎では飲酒運転が非常に多く、軽トラックで一晩寝たら朝にはお酒が抜けたと思って運転したという人が多いようだ。

また、車に同乗している人が、運転手からお酒の臭いがしても知らない顔をしていることを知った。

街頭での挨拶を通じて、「飲酒運転しないようお父さんやお母さんに伝えてね。」と子供に声を掛けるほうが、運転手一人一人に呼び掛けるよりも飲酒運転への抑止力が高いと感じた。

広報活動だけでなく行動に変えないと飲酒運転は減らないと感じた。

旨の発言があった。

○ 委員から

自転車盗の増加は、春日警察署管内だけでなく県下全域で増加しているのか。

また、その要因と、自転車に使われている鉄などを分解して海外に売ったりする状況もあるのか。

旨の質問があり、生活安全管理官が

大量に自転車を盗み、部品として使われている鉄等を売るといった話は報告されていないが、単純に足替わりとして自転車を盗んだという話はよく聞く。

報告された自転車盗の被害件数は、昨年と比べると増加しているが、コロナ禍では、外出自粛等が影響して被害も少なかつただけで、コロナ対策が緩和され外出も増えてきたことが被害件数の増加に転じたものと考えられる。

旨回答した。

また、刑事管理官が

自転車盗の被害件数の約6割は鍵をかけておらず、無施錠の状態で見られる。

学校等に行くために駅やショッピングセンターに鍵をかけずに止めたために被害に遭っているという状況である。

それらの場所に防犯カメラが設置されていても、映像では人が自転車に近寄っていることは確認できるが、カメラの死角などで犯人の特定には至らないこともある。

旨回答した。

○ 委員から

福岡市内にはチャリチャリという自転車シェアサービスがあるが、チャリチャリがある福岡市内と他の行政区では被害件数に違いがあるか。

旨の質問があり、生活安全管理官が

チャリチャリがある福岡市内も含め自転車盗の被害件数は増加している。

議 事 概 要

要因としては前述のとおり、無施錠の自転車が盗まれている状況が多く見られる。

各学校や駅、駐輪場を有する場所などでキャンペーンを行い、無施錠の危険性を広報することによる無施錠対策を推進しているところである。
旨回答した。

○ 委員から

春日警察署管内の行政庁が「不審者が出た」「事件が起きた」などの情報をSNSで通知してくれるとともに、警察からも「〇月〇日に起きた事件が解決しました。御協力ありがとうございました。」といった情報も流してもらっている。

このように行政と警察が連携して住民に情報を提供してくれることは有り難いがたいと感じている。
旨の発言があった。

○ 委員から

保護司をしており、保護観察処分を受けるようなDV加害者の少年を取り扱ったことがあるが、同人は「ゆっくりと春日警察署で話を聞いてもらったことがある。自分の意見もよく分かってもらえた。」と言っていた。

私は、まさかこんな話を聞けるとは思わず、被害者、加害者に関係なく話を聞いている春日警察署の対応が素晴らしいと感じた。
旨の発言があった。

○ 委員から

道路交通法の改正に伴い、令和5年4月から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務とされるが、警察でも何らかの対応を検討しているか。

旨の質問があり、交通管理官が

自転車のヘルメット着用は、春日警察署のみならず全国警察を挙げての取組とされており、県教育委員会、各自治体等と話をしながら、自転車事故が急増している中での学生に対する対策として、各高校等に出向き、ヘルメット着用を促す広報啓発を考えている。

旨回答した。

また、署長が

全国的な取組であるが、自宅から駅まで自転車通勤し、その後電車で会社まで行く人はヘルメットをどうするのか、といった問題もあり得る。

丈夫で折り畳めるヘルメットなど商品にも工夫がなされていることから、これらを周知させることでヘルメット着用を普及させたいと考えている。

旨発言した。

議 事 概 要

○ 委員から

DVの通報している人達は、どのような状況で警察に通報しているのか。旨質問があり、生活安全管理官が

危険だと感じた当事者が通報するほか、スマートフォンが普及していることから、通行人が通報するといったケースが増えてきていると思われる。

DVかも知れないという半信半疑の通報内容でも、警察は現場に赴いて事実確認を実施している。

旨回答した。

さらに、委員から

令和4年中の治安概況で福岡県内の児童虐待に伴う通告児童数が増えていると資料に掲載されていた。

子供の面前で親が喧嘩することは子供に対する心理的虐待とされるため、厚生労働省が発表する全国の虐待件数が増加している要因となっている。

実際には些細なことから夫婦喧嘩に発展していることが多く、以前は同居の家族や周りの人達が喧嘩を仲裁することなどあったと思うが、今は、若い夫婦と子供だけの世帯など、仲裁する人もおらず誰に頼ってよいか分からないため、110番という選択肢を取っているのではないかと感じている。

旨発言した。

署長が

警察署でもほぼ毎日夫婦や交際している男女間の揉め事を取り扱う。

ストーカー事件や男女間の揉め事は非常に多く、相談や対応が長期化することもあるため、一つ一つ丁寧に解決していかなければならない。

旨発言した。

【閉会】

以上で第4回春日警察署協議会を閉会する。